

報道資料

(答申内容に関する) 解 禁  
テレビ・ラジオ・インターネット 12月16日(金曜日) 17時以降  
新 聞 12月17日(土曜日) 朝刊から  
文化庁の指示により全国統一発表  
(答申が遅れる場合は御連絡しますので、答申後の報道としてください。)

令和4年(2022年)12月8日  
文化企画・世界遺産推進課  
文化課

国重要文化的景観の追加選定の答申について

- 令和4年(2022年)12月16日(金)に開催される国の文化審議会(会長 佐藤 信)は、史跡名勝天然記念物等の指定・登録等39件について、文部科学大臣に答申する予定です。
- 県内では国重要文化的景観「阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観(阿蘇市)」の追加選定及び名称変更、同「阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観(産山村)」について答申される見込みです。
- なお、阿蘇市及び産山村の重要文化的景観は、熊本県と阿蘇郡市が世界文化遺産登録を目指す「阿蘇カルデラ」の資産の候補です。

記

1 国重要文化的景観の追加選定及び名称変更「阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観(阿蘇市)」(旧名称:阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山の草原景観)

○概要(文化庁報道資料より)

阿蘇の文化的景観は、巨大なカルデラを伴う火山地形において、長い年月をかけて、山裾から山頂にかけて耕地、宅地、森林、草地を並べる土地利用が定着して形成された。

今回、北外輪山及び中央火口丘群に広がる草地を追加選定し、名称変更するもの。  
面積 5,766.0ha(現在)+5,055.6ha(追加)=10,821.6ha(追加選定後)

2 国重要文化的景観の追加選定 「阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観(産山村)」

○概要(文化庁報道資料より)

阿蘇の文化的景観は、巨大なカルデラを伴う火山地形において、長い年月をかけて、山裾から山頂にかけて耕地、宅地、森林、草地を並べる土地利用が定着して形成された。

今回、北外輪山に広がる草地を追加選定するもの。  
面積 65.3ha(現在)+301.2ha(追加)=366.5ha(追加選定後)

※世界文化遺産登録との関連性について

阿蘇の文化的景観は、阿蘇の世界文化遺産の資産の候補である。

世界文化遺産の登録にあたっては、その提案範囲は法的保護措置で保全されていることが求められるため、今回の文化財保護法による重要文化的景観の選定により、開発に一定の規制がかかり景観の保護が図られ、登録推進に資することとなる。



町古閑牧野組合の草原（阿蘇市）（提供：阿蘇市）



まきの  
牧野牧野組合の草原（産山村）

### 3 全国の新指定・追加指定等の内訳（文化庁報道資料より）

新指定	史跡	7件	
追加指定	特別史跡	3件	
	特別史跡及び特別天然記念物	1件	
	史跡	20件	
	名勝	2件	
	天然記念物	1件	
新登録	登録記念物（名勝）	2件	
新選定	重要文化的景観	1件	
追加選定	重要文化的景観	2件	合計 39件

今回の答申による県内の国重要文化的景観及び史跡の件数に変更はありません。

（重要文化的景観10件、国史跡46件）